

<県教委指導の方針>

- 1 命を尊び、心や体を鍛え、たくましく生きる力を養う。
- 2 自ら学び、深く考え、広い視野をもって主体的に行動する力を養う。
- 3 礼節を重んじ、自らを律し、他とともに心豊かな生活を築く態度を養う。

【校訓】
「正しく 強く 明るく」

【目ざす児童像】
「筋道を通して考える子」
「たくましくがんばり抜く子」
「思いやりのある、すなおな子」

<弥富市学校教育基本方針>

- 児童・生徒の「生きる力」の育成、それを支える学校の教育力の向上を図る。
- 1 知・徳・体のバランスのとれた生きる力、児童・生徒の将来に生きる力を育む。
 - 2 児童・生徒の成長を支える環境、信頼と魅力ある学校づくりを推進する。

【よりよい学校】通いたい学校、通わせたい学校、勤めたい学校

- ・ 学ぶ楽しさや集団として行動する楽しさが味わえる学校。
- ・ 家庭や地域社会と連携し、地域に開かれた学校。
- ・ 安心感のある学校。
- ・ 清潔で整備された環境の学校。
- ・ 学校の優れた点と問題点を率直に話し合い、改善を図り続ける学校。

【よりよい教師】率先垂範、師弟同行

- ・ 児童とともに活動するなかで学ばせる教師。
- ・ 児童一人一人の「よさ」に目を向け、心のふれあいに努める教師。
- ・ 教育者としての愛情と誇りをもつ教師。
- ・ 学び合う集団で指導技術を磨き合う教師。
- ・ 広い社会的視野をもつ教師。

【よりよい児童】当たり前が当たり前でできる児童

基本的な生活習慣を身につけ、人とのつながりを大切にする児童。
心身ともに健康で、目標に向かって粘り強く取り組む児童。
仲間の考え方を聴きながら、主体的に学ぶ児童。



【重点努力目標】

豊かな心

《凡事徹底》
あいさつ、言葉遣い、清掃、整理整頓、廊下歩行。
《ふれあい班》
認め合い、相手のことを考えて行動する心と力を育てる。
《学級づくり》
具体像を描き、6年間を見通した計画的な学級づくりを進める。

学習指導

《聴き合い・学び合い》
聴き合う関係を基盤とした学び合う学びをめざして、児童が学びの主権者となる授業を展開する。
《学力コンクール》
基礎的・基本的な知識及び技能を定着させる。
《食育》
栄養教諭、地域の方とともに食育を推進する。

現職教育

《授業研究》
学び合う学びのための授業力を高める。
《特別支援》
全教職員が個々の特性を理解して、特別支援教育を推進する。
《地域連携》
地域の力を生かした教育活動ができるカリキュラムづくりを行う。

【校区における幼小中連携】

- 小中連絡会・幼児教育推進委員会
- 生徒指導連絡協議会
- 半日入学・授業参観
- 幼稚園・保育園・中学校との情報交換 他

【家庭・地域社会との連携】

- P T A活動、授業参観、懇談（学級・個人）、家庭訪問
- 学校だより、学年だより、各種たより、ホームページ
- 登下校指導

【学校サポート体制づくり】

- P T A諸活動
- 学校評議員会
- 玉樹会
- 校区コミュニティ推進協議会
- 読み聞かせボランティア
- 学校支援ボランティア
- 同窓会